



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成23年12月

うるわし通信

文化と観光のまち桜井

桜井市は観光に熱心な都市です。多くの市民が観光をテーマに現実的にそれに取り組まれている姿は感動的です。観光といえば昔は物見遊山が主だったと思いますが、現代は大きく様相が変わり、文化を楽しむということになっているようです。特に桜井市を訪れる観光客は古代文化に憧れ、あらかじめ一定の知識を蓄えた上で、いまでも残る自然風景に古代を重ねられ複合的に文化を楽しんでおられるようです。

こうして、文化と観光とは、とても近親関係がありますが、文化が学者肌の兄とすれば、観光は茶目っ気のある弟というような存在ではないでしょうか。

茶目っ気たっぷりの明るいまち、大勢の人が普段着で来るまち、国籍・思想・宗教を超えて、人間にやさしいまちになることにわたしは大賛成ですが、さて、年の暮れです。鳴物入りで行われた今年の催しについて少し振り返ってみました。



桧原神社境内



金屋の仏教伝来之地碑前

大和の古道紀行

万葉歌碑めぐりロマンラリー・古道ラリー 前半のまとめ

「大和の古道紀行」も15年目を迎えました。ふり返ってみますと第1回は平成9年「大化の改新散策ラリー」として多武峰から出発しましたが、いまとなつては懐かしい思い出です。

今回は「古道めぐり」と「歌碑めぐり」を一緒にして、特に「万葉歌碑めぐりロマンラリー」を催しましたところ好評でアンケートの結果、多くのご意見を寄せて頂き、嬉しく思っています。

桜井市観光協会 理事長 林 勤

万葉歌碑めぐりロマンラリー 応募者府県別意見及び感想

府県名	奈良県	兵庫県	大阪府	三重県	岐阜県	和歌山県	計
%	22	13	24	35	4	2	100

●母と子供達と行き始め母に誘われ暑いしと思いイヤイヤ行きましたが子供も楽しんでくれて、さがすのを楽しんでこんなわかりにくい所にあったよと喜んでくれて、2回目は私が母を誘って行きました。
(大阪府高槻市 47才 女性)

●見所のある場所に行く事が出来て良かった。(大阪府吹田市 63才 男性)

●二日目にも行き、行き過ぎてもどったりしながらの楽しい思い出に残る一日を過ごしました。
(三重県津市 70才 男性)

●「大和の古道紀行」と「さくらい・六街道を巡り歩く」を手に桜井市にどっぷり浸りました。奈良市に転居して1年3ヶ月この企画とパンフ、大いに楽しんで、思いもよらぬ短期間でたくさんの地を巡り歩きました。
(奈良県奈良市 62才 男性)

●万葉の歌に感動し「二上山夕日を見るハイキング」のボランティアの方に感謝です。桜井市は古代ロマンを探るのに何度訪れても日数が足りません。いつも楽しい発見をしています。(兵庫県姫路市 64才 女性)

●楽しんで歩かせていただいています。56番はずい分探しましたがよう見つけませんでした。8月で草にかくれていたのかもと思っています。
(和歌山県田辺市 70才 女性)



桜井駅北口

古道ラリー 応募者府県別意見及び感想

府県別	奈良県	兵庫県	大阪府	京都府	三重県	和歌山県	東京都	愛知県	岐阜県	計
%	11	8	44	4	23	3	3	3	3	100

●山の辺の道は、大好きで今回で2度目です。休憩所が新しく設置されていたのでさっそく使わせていただきました。ラリーがあったことで、さらに楽しくて、前回通過してしまった所にも訪れることができ良かったです。

(愛知県名古屋市 54才 男性)

●トイレの位置OKそれに他市より、きれい！(大阪府和泉市 69才 男性)

●「桜井に愛に恋」いいキャッチフレーズですね。パンフレットの表紙の写真がとてもいいです。歌碑めぐりに挑戦していますが、見つけにくい所もありむずかしいです。「ひみこちゃん」かわいいです。

(大阪府大阪市 63才 女性)



山の辺の道

シンポジウム「奈良桜井の歴史と文化」

今年の5月に談山神社（権殿）で観世宗家としては400年ぶりの翁奉納が行われた。その関連事業として、うるわしの桜井をつくる会をはじめ関係諸団体が実行委員会を結成し、「奈良桜井の歴史と文化」と題したシンポジウムが5月15日に桜井図書館で開催され、申込者が関東からも含め400名を超える県内外の方々から関心が寄せられた取り組みとなった。



シンポジウムは、第1部として梅原猛氏による基調講演「魔多羅神面と翁面」が予定されていたが、東日本大震災の復興構想会議の特別顧問としての仕事に奔走されていたことから、梅原氏は残念ながら欠席となったが、能楽の著名な研究者である天野文雄・松岡心平・宮本圭造の各先生方が、【多武峰の翁とはなにか～能楽の源流を探る～】をテーマに研究成果の提起をされた。

その後、シンポジウムのコーディネーターをされた奈良県図書館情報館長の千田稔氏は、専門的になりがちな研究者の講演内容をテーマに沿って、「魔多羅神とは何か」「多武峰の魔多羅神面と翁との関係」「多武峰

の芸能と翁舞」などについてわかりやすくパネラーから意見を聞き出しながら、談山神社が室町時代の能楽の発展に果たしてきた歴史を参加者に紹介された。

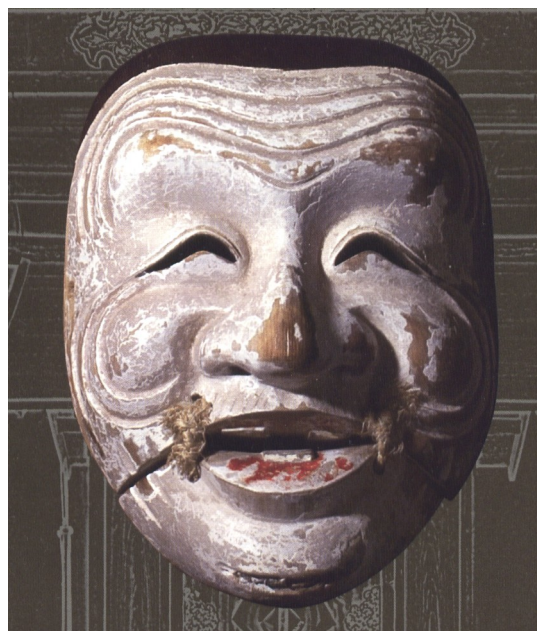
このシンポを通して桜井の地域が、世界文化遺産認定されている能楽の誕生とその発展に大きく寄与した土地であり、観世座や宝生座などの大和猿楽との深いつながりのあることが、改めて再確認された。そしてこれを契機に、伎楽伝承の地である土舞台、そして鼓の里と呼ばれる多武峰など、さまざまな桜井の伝統芸能の側面に関心が寄せられることが期待される。

また第2部は、【五人囃子コンサート】として小鼓や笛・太鼓などの演奏が、大倉源次郎氏や藤田六郎兵衛氏などによりおこなわれ、日頃体験しにくい能楽の調べを聞くと共に能楽の謡体験もおこなわれ、参加者は能楽の世界に参加するひと時を持つこととなった。参加者からは、能楽について非常に有意義な企画であり、五人囃子コンサートは大変楽しめた内容であったとの感想が多く寄せられた。

翁舞 談山神社

平成の大修理を終えた「権殿」の落慶大祭が行われた5月、これを記念して観世宗家による歴史的な翁舞の奉納が行われた。権殿は、室町時代再建の国の重要文化財で明治以前は仏教伽藍の常行三昧堂で、ここで称名念仏修行や法会が行われた。また神社には「摩多羅神面箱常行三昧堂」と箱書きのある桃山時代の翁面が保存されている。この翁面は能の翁面より一回り大きな翁面で、金春禅竹の『明宿集』に「神変奇特の面」と記されている摩多羅神面であろうと梅原猛氏は言い、この面は翁舞の原型と考えて良いとも言っている。

5月16日、世阿弥以来といわれる観世宗家による「翁奉納」とあって殿内をうずめた観客の緊張がみなぎる中、摩多羅神面を着けた宗家の舞いが中世の盛儀を蘇らせた。出演者は、翁／観世清和、千歳／観世淳夫、後見／大槻文蔵・上田公威、地謡／梅若玄祥・観世鍊之丞・片山九郎右衛門・観世喜正、笛／藤田六郎兵衛、小鼓／大倉源次郎、大鼓／山本孝、太鼓／観世元伯。



桜井うたがたり評判記

10月22日第32回土舞台顕彰記念事業として「桜井うたがたり」が催されました。地元のメンバーがそれぞれ持ち味を発揮しての熱演は見ごたえがありましたが、特に印象に残ったのは万葉歌を新たに歌曲として捉えたバリトン・ソプラノの熱唱でした。迫力満点でいにしへの恋歌の応酬として有名な海石榴市(つばいち)の歌垣も、本来は宮中朗詠のおとなしいものではなくダイナミックなものだったろうと改めて思いました。

会場を出てから、名前も知らない数人と歩きながら「とても良かった」参加者が意外に少ないことが、「勿体ない」と口々に話しながら帰りました。



テレビ出演情報

12月14日(金) BSフジ (BS8チャンネル)
「プライムニュース」(20:00~22:00)
まちおこしによる地域の活性化をテーマとする番組に三輪座で活躍中の会員の栄嶋まゆみさんが出演されます。

12月19日(月) フジテレビ (8チャンネル)
朝の情報番組「とくダネ!」(8:00~10:00)の特集「古文書プロジェクト」(9:20~9:40放映)に会員の植村幸子さんが曾祖父の残した手記「関東大震災其の時の避難行動」を辿り出演されます。

事務局だより

12月の常任理事会は12月16日(金)午後7時よりまほろばセンター第6研修室にて開きます。

新春交流昼食会のお知らせ

平成24年1月22日(日)午前12時より「あるぼ〜る」にてうるわしの桜井をつくる会新春交流会を催します、会員の皆様のみならず、知人・友人お誘い合わせの上、ご参加ください。

部会だより

文化部会 平成24年1月20日(金)午後1時30分よりまほろばセンター第4研修室にて、朝日新聞大阪本社/西見 誠一氏による「大阪府教育基本条例案から見える教育改革のすがた」を主催「論座」共催「うるわしの桜井をつくる会文化部会」で開催します(参加無料)皆様多数のご参加をお待ちしています。

会員募集中 どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで。
年会費 個人 ¥2,000 法人 ¥20,000

編集後記 先日、三輪座を訪問しましたところ、たまたまテレビの取材を栄嶋さんが受けておられました。帰ると今度は植村さんもテレビにでられるとのことで、当会も俄かに賑やかになった感じです。一年間ご愛読ありがとうございました、皆様恙なく越年下さい。(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345